

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人無量会放課後等デイサービス「りんどう」		公表日		2025年1月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・限られたスペースに用途に分けて工夫されている	・区切りがもう少しあれば	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			・迎えの関係で、手薄になる時間帯がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・工夫はされている	・バリアフリー化はされていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	4		・つい立等を利用して個室対応ができれば ・クールダウンできる部屋があれば	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・アンケート結果を職員会議で改善に向けて協議している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・主に職員会議で行っており、改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	8				
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・個別支援会で協議し、また支援計画書を別途ファイルし、いつでも確認できるようにしている。	・計画に沿った支援の徹底は不十分なところはある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1			

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	7	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・気づいた点があれば報告していることもあれば、時間的に難しい時もある。	・職員の退勤時間と送迎時間との兼ね合いで、その日のふりかえる時間を設けることは難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	8	2		/
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			・地域交流の機会がない
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8			
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		・加西市内の放デイの事業所とは、放デイ連絡会を年3回実施し、春休みには合同の観桜会を行った。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2		・家族支援プログラムはないが、家族向けの交流会や研修会は行っている。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】（自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1		・情報共有できている学校もあるが、できていない学校も多い。	
38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		・こちらから問い合わせることが多い。	

	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		・該当ケースなし
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7			
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	・保護者同士で交流する機会は設けるようにしている。	・保護者会やきょうだいの交流の場は設けていない。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・利用時の連絡帳、毎月の利用状況報告書、日々の連絡はラインで行っている。重要なことは、電話、もしくは直接会って伝えている。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・対象者によって、視覚重視で伝える工夫は行っている。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	・将来的には予定されている	・地域とかかわって行う活動は行えていない。
51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8				
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
	53	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・家族からの指示で特定食物を排除して提供するケースはある。	・医師の指示書に基づく利用児はいない
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		・事故対応マニュアルがなく、地域との連携もできていない。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			・見落としているヒヤリハットは多いかもしれない。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			

60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		・該当者なし
----	--	---	---	--	--------

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	社会福祉法人無量会放課後等デイサービス「りんどう」	公表日	2025年1月15日
		利用児童数	26名
			2024年11月20日
		回収数	24名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	3		2		・個室スペースがないため、ソファ等 のレイアウトや仕切りを利用して個別ス ペースを作っている
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17			7	・何人の子どもに対して、何人の職員が 配置されているのかわからない。 ・何人の職員がいるのかわからない。	・職員紹介のパンフレットを作って配布 している。 ・余裕をもって支援にあたるために職員 採用に努める。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	4		6	・バリアフリーではない。	・バリアフリーについては、必要性が出 れば検討する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20			4	・手洗いがしっかりできているか、よく 見て欲しい	・掃除については、利用時間後や利用時 間の前にも適時行っている。 ・手洗いについては、個別に対応してい く。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	22			2		・専門性を高める職員研修を行い、資格 取得を推奨する。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	21	1		2		・具体的にどのような支援を行っている のか、モニタリング等を通して伝えてい く。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援 計画）が作成されていると思いますか。	23	1				
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放 課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサー ビス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、そ の上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24			2	・ガイドラインを知らない	・モニタリング等を通して、個別支援計 画書の説明を丁寧に行う。
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われて いると思いますか。	23			1		・モニタリング等を通して、個別支援計 画書と実際の支援について伝えていく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	21	2		1		・状況報告書を利用して、事業所での活 動について知らせていく。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等と の交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	1	2	8		・加西市内の他の放課後等デイサービ スとの交流はあり、今後も継続していく。 ・地域での活動については、地域性を考 慮して検討していく。
保護 者へ の説 明	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	23			1		
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援 内容の説明がなされましたか。	24					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	20	1	1	2		・家族向けの研修等の案内は、随時連絡 帳を通して行っている。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	23			1	・毎日の連絡帳や月1回の状況報告書で のやり取り	・気になることがあれば、送り時での会 話や電話でのやり取りも行っている。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23			1	・6か月ごとのモニタリングで行ってい る。	・モニタリングでは、自宅の様子をは じめ将来についても言及するなど、しっ かりと話を聞く時間として位置づけてい る。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23			1		・寄り添う姿勢は、常に心掛けている。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	4	3	2	・利用回数が少ないこともあって、他の 利用者様と会ったことがない。	・保護者会は組織やきょうだい支援はな されておらず、今後の検討課題。 ・事業所を開放し家族を招待する催しを 行ったが、発展させていきたい。	

等	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1		3		・苦情については、契約時に説明がなされている。 ・相談等の対応体制については、周知・説明は行っていないが、個々に対応しており、適切な対応を心掛けている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	3		1	・LINEや連絡帳での連絡。	・子どもに対し特性に応じて視覚による情報伝達を行っている。 ・言葉でのやり取りはもちろん大切だが、LINEなどにおいて文字で確認することが有効な手段
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2	1	7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19			5	・5月、非常災害時の対応について書面があった。	・今後も非常災害時や気象警報時の対応については、定期的にお知らせをしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22			2	8月、事故報告の書面があった。	8月の事故報告については、報告が遅れたため、迅速な対応を心掛けていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	24				・色んな所への外出や体験は、本人は喜んでいる。	・出かけていく活動については、マンネリ化ないように子どもが楽しめる、学習になる活動を開拓していく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人無量会 放課後等デイサービス りんどう		
○保護者評価実施期間	2024年10月25日		～ 2024年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2024年10月22日		～ 2024年11月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な療育内容や体験	日々の療育では、運動、制作、療育ゲーム、自立課題、昼食・おやつ作り、他事業所合同の公園遊びや畑作業など様々な経験が積めるように行っている。また、長期休暇においては、川遊びや工場見学など、普段体験できない企画で実施している。	一つ一つの療育に対して、なぜ何のために行っているのか、個別の目標を理解したうえで取り組む必要がある。また、療育の質を高めるとともに個別の療育を重要視する必要もある。
2	事業所独自の取り組み(喫茶りんどう)	2024年4月と11月に利用児が店員となり、事業所で喫茶店を開催。他事業所や保護者を招待し、事業所の様子を知らせることや交流、仕事体験などを目的に行った。	地域との交流を意識した活動が求められる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童一人当たりのスペースは狭くはないが、クールダウンや静養するための個室スペースがない。	元店舗の建物をリフォームして事業を行っているが、間取りを変更するためには資金が必要となるため、当面は現状のまま使用するしかない。個室はない中で、それに代わるスペースとして学習室が役割を果たしているが不十分な状況。	パーティションなどを利用して個室に近いスペースを確保することも考えられるが、適当な場所がなく十分に考えて行う必要がある。
2	職員の専門性を高める必要がある。	職員によっては、仕事にかかわる資格取得に励んでいるが全体的に取り組む必要がある。	障害に対する理解や療育の質を高めるための学習や研修の機会を積極的に取り組む。資格取得に対しても奨励していく。
3	保護者向けの情報提供	6ヶ月ごとのモニタリングや毎月の状況報告書で利用児の様子を知らせたり、保護者向けの研修や催しに関する情報提供も行っているが、事業所からの発信は不十分と考えられる。	定期的に事業所から保護者に向けて機関紙的なものを発行する方向で取り組む。